

# 基町再開発をどのように発想・デザインしたか

— 建築家大高正人のもとでの挑戦を振り返り、今を語る —

## 語り人 藤本 昌也さん

略歴:広島市出身

早稲田大学修士課程修了後、1962年より10年間大高正人に師事。1972年現代計画研究所を設立、現在会長。地域に根ざした集住空間や住まいづくりを実践し、良好な都市景観形成の実現に努める。



日時 2017年6月2日(金) 18:30~20:30  
場所 合人社ウエンディひと・まちプラザ  
研修室A(北棟5F)

〒730-0036 広島市中区袋町6-36 ☎082-545-3911  
<http://www.cf.city.hiroshima.jp/m-plaza/shietsu.html>

参加費 1000円  
(資料費・会場費として、ただし学生・院生は無料)  
定員 55名程度まで(厳守)

今回は事前申し込みを原則とします。参加される場合、できれば前日までにメールまたはFAXで語る会実行委員会までご連絡ください。お問い合わせも下欄まで。

主催 時代を語り建築を語る会実行委員会  
共催 (公社) 日本都市計画学会中国四国支部  
後援予定 (一社) 日本建築学会中国支部  
(公社) 広島県建築士会

今回は語る会の趣旨に最も沿い、中心的なテーマに迫る企画となりそうです。大高正人建築設計事務所のもとで基町再開発計画・設計において大きな役割を果たされた藤本昌也さんをお招きできることになりました。

藤本さんは広島出身の建築家で、広島の基町だけでなくいくつかの県営、市営の公営住宅の設計にも関わってこられ、従来の標準設計を越えて独特のデザイン・空間を展開されてこられました。

今回の語る会においては基町を中心として、大高正人さんとの協働や独特のやりとりなど、今まで語ってこられなかったことを含めた設計意図や苦労されたこと、残された課題は何か、等を語っていただき、広島の建築界へのメッセージなどもいただきたい。

前半コーディネーターの石丸が質問し、可能な限り切り込みますので、後半参加者からも率直なご意見・ご質問をいただきます。

第16回時代を語り建築を語る会実行委員(敬称略 50音順)

石丸紀興 岡河 貢 小泉直子 柴田直美 高東博視  
瀧口信二 錦織亮雄 福馬晶子 藤坂容子 古谷章子  
中村 圭 前岡智之 松本富美 森保洋之 山下和也

語る会連絡先 広島諸事・地域再生研究所  
広島市中区八丁堀1-23 ヴェル八丁堀1113

TEL/FAX 082-223-7226 nisimar5@hotmail.com